

本部棟、施設棟基本計画

有明の丘地区及び東扇島地区の両地区内に建築する本部棟及び施設棟の諸室の機能、面積等については、内閣府（防災担当）と国土交通省とで以下のとおり想定している。ただし、各室の機能、面積は現段階のものであり、今後の詳細な設計により変更はありうる。

1. 有明の丘地区 本部棟

発災時・・・合同現地対策本部として関係省庁や被災都県市の職員、指定行政機関の職員等が参集し、活動を行う。

平常時・・・訪れた人々に対して防災に関する体験学習を行う。

(1) 計画概要

建築場所：東京都江東区有明2丁目

延床面積：約10,900m²

(2) 諸室の機能と概ねの面積

1) 防災関連部分

本部長室、オペレーションルーム、本部会議室等	約2,100m ²
休憩室、仮眠室等生活関連諸室	約700m ²
機材倉庫・備蓄倉庫	約200m ²
設備関係室	約700m ²
交通部分	約1,300m ²

2) 公園関連部分

平常時において、人々が防災に関する体験学習等を行うことができるようにするため、防災に関する展示、防災情報のガイダンスや体験学習等を実施するための機能を備えた公園施設として整備するとともに、設備関係として自家発電室等を整備する。

2 . 東扇島地区 施設棟

発災時・・・物流コントロールセンターとしての活動を行う。

(1) 計画概要

建築場所：川崎市川崎区東扇島

延床面積：約 4 0 0 m²

(2) 諸室の機能と面積

オペレーションルーム、打合せスペース等	約 8 0 m ²
休憩室、仮眠室等生活関連諸室	約 5 0 m ²
機材倉庫・備蓄倉庫	約 6 0 m ²
設備関係室	約 1 1 0 m ²
交通部分	約 1 0 0 m ²